

令和2年4月1日 出発人数	利用者	職員
進和万田ホーム (生活介護、短期入所)	59	30
ビーライトしんわ・しんわブライト (放課後等デイサービス)	登録者 132	11
進和やましろホーム (入所、生活介護、短期入所)	83	61
進和あさひホーム (入所、生活介護、短期入所)	60	48
はばたき進和 (入所、生活介護、短期入所)	55	36
しんわレネッサンス (就労継続支援A型、就労移行支援、 就労継続支援B型、就労定着支援)	108	48
サンメッセしんわ (就労継続支援B型)	49	25
しんわやえくぼ (就労継続支援B型)	20	7
しんわグループホーム (共同生活援助)	58	23
サンシティひらつか (相談支援、就業・生活支援)	登録者 960	13
いずみ保育園	121	36
富士見保育園	117	31
しらゆり保育園	58	18
つどいの広場どれみ (地域子育て支援)	登録者 291	4
勝原学童保育会 (放課後児童健全育成)	48	8
法人本部	—	4
在籍者 836、登録者 1,383 計 2,219 名		403 名

令和2年度 出発

人と人との絆を大切に心をつなげて
がんばっていきましょう。

そして進和学園全体が笑顔であふれる
一年にしましょう。

木村まり子

本人自治連合会会長

社会福祉法人 進和学園
理事長 出縄守英

月報しんわ

統合版

令和元年度2・3月号
令和2年度4月特別版

社会福祉法人
進和学園
平塚市万田445

www.shinwa-gakuen.or.jp/

新年度にあたり

「本人中心」の理念と共に、進和学園は創設62年目を迎えます。地域、社会の中でも、ご本人が個性を発揮して活躍できる場が増えるよう取り組んでまいります。現在、新型コロナウイルスの影響で世界は混乱しています。一日も早い終息を祈り、いのち、健康を守ってまいります。



こんなに大きくなりました!

今では、立派な桜並木になりました❀
毎年、利用者ご本人も開花を楽しみにしています!



1m程度の背丈で、ちゃんと育つのか心配でしたが、数年して花が咲くようになりました。



玉縄桜をひろめる会の方5名とやえくぼ利用者ご本人で植えました。とても細い苗木で心許ない感じがしましたが…。

平成25年3月6日に鎌倉市の「玉縄桜をひろめる会」様よりご寄贈いただき、サンメッセ裏側斜面に植樹した10本の苗木が立派な桜並木になりました!

玉縄桜 満開



いずみ保育園・富士見保育園・しらゆり保育園 卒園式

そっせん
おめでとう!

3月14日(土)、保育園で卒園式が挙行了されました。新型コロナウイルス感染防止のため在園児は列席しませんが、それぞれの園が工夫を凝らした演出でお祝いしました。富士見保育園では、卒園証書を筒に入れ、園長先生から卒園児へ、卒園児から保護者へ手渡しする「証書のバトン」をおこないました。



いずみ保育園 25 名



富士見保育園 30 名



しらゆり保育園 12 名

NPO 成年後見湘南 代表理事 成瀬 富子様

今回のふれあいインタビューは「NPO 成年後見湘南」の代表理事である成瀬富子様にお話を伺いました。

【法人の立ち上げ】

NPO 成年後見湘南は、平成 12 年の成年後見制度施行から 3 年経った平成 15 年、しんわ家族会の有志メンバーで立ち上げました。当時、家族の会がこのような法人を立ち上げるといった前例はなく、神奈川県では初、全国でも珍しいことで、裁判所へ法人立ち上げの相談に行った際にとっても驚かれたのを今でも覚えています。

立ち上げのきっかけは、親亡き後の心配からです。後見人を立て金銭管理をすることはできても、身上監護（生活上の様々な手続きや契約）はどうなるのかといったことは家族会の中でもたびたび挙げられていました。親としてはやはり自分の子どもの金銭管理はできる限り自分でおこないたいという気持ちがあります。いずれ自分ができなくなってしまう時のために後見人を立てておきたい、

その時は金銭管理以外に本人との関わりも大事にしてもらいたい、だったら自分たちでやってみようと、法人を立ち上げることに至りました。

今では進和学園の利用者（退所者も含む）22 名と、その他の事業所利用者 5 名の計 27 名の方の後見をしています。

【成年後見の活動】

成年後見人としての活動は、被後見人一人ひとりに担当がつき、本人の金銭管理はもちろん、本人との面会を 2 ヶ月に 1 回おこなっています。その他にも外出支援など、本人の希望に沿ってさまざまな活動をしています。また、年 4 回担当者会議を開き、法人全体で情報共有もおこなっています。面会に行った際に見せてくれる笑顔や、買い物などを喜んでくれる姿がわたしたちのやりがいにつながっています。

現在の課題は人材確保です。障がい者の後見は老人と比べると長い期間の支援が必要なこともあり、後見人の加齢に伴い後見人の交代が必要となるケース

も少なくありません。当法人でも新たなメンバーを募集しています。ボランティアの活動費を支払います。毎月 1 回の定例会議への参加と、後見担当者として 2 ヶ月に 1 回ご本人との面会をお願いしています。経験者が一緒についてフォローしますので、初心者の方でも安心です。まずは見学からお待ちしております。特に、しんわ家族会皆様からの参加をお待ちしています！

【編集委員より】

NPO 成年後見湘南の皆様とは、一緒に外出支援をおこなうなど、以前より関わりがありました。NPO 設立のお話を伺うのは初めてでした。家族の会が法人を立ち上げたのは神奈川県初と聞き驚いたのと同時に、皆様の熱意に敬服いたしました。この度は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



左より 成瀬富子様、
月報編集委員 木村春香
令和 2 年 4 月 13 日(月)
本部 2 階会議室にて

2月2日(日)

チャペルコンサート

ホテルサンライフガーデンで開催された「臼井ヤスヒトチャペルコンサート」に行きました。

コンサートの前
にホテルでランチ
ビュッフェをいた
だきました。サイコ
ロステーキやピザ
やパスタ、カレーな
ど、種類豊富な上
に
おいしくて大満足
でした！



コンサートに感
動したグループホ
ームの鈴木一男さ
んは「ギターが欲し
い」と職員に相談。
ネットを探し、気軽
に弾けるウクレレ
を購入しました☆

サンライフガー
デンのチャペルは
19 世紀に英国・スコ
ットランドで建て
られた教会が移築
されたもので、神聖
な場所に響き渡る
ギターの演奏は、初
めて聴く曲も心地
よく耳に入ってい
きました。



成年後見制度講座・講演会のシンポジストとして
しんわグループホームの志村さんが登壇しました！

2月17日(月)に済生会湘南平塚病院内なでしこホールにて、平塚市成年後見利用支援センター「よりそい」の設置5周年を記念して、「障害者権利条約と成年後見制度」資格制限見直しを通して、今、私たちにできること」と題する講演会がこなわれました。

志村千恵子さんは第2部のミニシンポジウムで、成年後見制度を利用している利用者ご本人の代表として出席し、成年後見を利用することになった経緯や、担当してくださっている後見人について等を発表しました。



しんわグループホーム
志村千恵子さん

2ページ「ふれあいインタビュー」では「NPO成年後見湘南」を紹介しています。

第1部では、講師の内嶋順一弁護士が、障害者権利条約や成年後見制度の説明、資格制度見直しによってどのような変化が生じているのかを、わかりやすく解説してくださいました。

第2部では志村さんの他に、相談支援に携わっている「サンシティひらつか」の橋本正行所長と「平塚市手をつなぐ育成会」の長橋尚子氏も登場し、参加者と意見交換がこなわれました。

参加者の一人で、志村さんの後見担当である「NPO成年後見湘南」の小林美栄子さんは、志村さんのご両親のお墓参りに付き添っていった時のエピソードを披露されました。地元へ帰るせっかくの機会なので、志村さんのお世話をしてくれた民生委員(故人)の方のお宅へ挨拶に伺い、息子さんと会話を交わすと、当時まだ子どもだった息

子さんは同年代の志村さんのことをよく覚えていて、現在の志村さんの暮らしぶりを聞いてとても安心されていた、というものでした。



志村さんは、今回、小林さんの後見人としての活動を発表してほしいと依頼され、「私がやらなきゃだれがやる！」とシンポジストを引き受けました。終了後、「人前は緊張した。原稿が長かったけど、また声が掛かったらもう少し文章を少なくして出たい。」と感想を述べていました。

ご協力ありがとうございました

昨年12月、年末募金の募金活動をおこないました。利用者ご本人、ご家族、ご支援者、職員から寄せられた募金は合計で561,819円となりました。

皆様からお預かりした募金のお届け先は左表の通りです。例年、平塚市長さんへ募金のお届けをおこなっていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響から延期となりました。たくさんのご協力ありがとうございました。

<ポスター>
やましろホーム
亀井孝浩さん作



<募金活動の様子>



みなさま
ご協力ありがとうございました。
ろ田ホーム 本人自治会
会長 田所由美子

お届け先名称		金額
平塚市	社会福祉基金	80,000円
	みどり基金	80,000円
	文化振興基金	80,000円
神奈川県	ともしび基金	11,819円
神奈川県ユニセフ協会 平塚友の会		100,000円
エルエンジェル 国際ボランティア協会 (ネパール学校建設)		100,000円
神奈川新聞社 厚生文化事業団		10,000円
日本赤十字社		100,000円
(東日本大震災義援金として 20,000円)		
(台風15号災害義援金として 20,000円)		
(台風19号災害義援金として 20,000円)		
(北海道胆振東部地震義援金として 20,000円)		
(熊本地震災害義援金として 20,000円)		

令和元年度合計金額 561,819円

ご寄付いただきました!!

2月5日(水)にコマツユニオン湘南支部(全コマツ労働組合連合会)の5名の方が来訪されました。

平成26年度より毎年コマツユニオン様で実施している「愛のかがり火募金」をご寄付いただいております。自治会役員が代表してありがたく頂戴しました。贈呈式後は進和学園の各事業所をご案内し、日ごろの活動を見学していただきました。



コマツユニオン湘南支部様では人事異動があり、今回は、新旧の担当者の方がお越しく下さいました！
(サンメッセふれあいホールにて)

みなさんお馴染みの
田中紙店飯村部長！
(法人本部にて)



4月15日(水)、(株)田中紙店様より、次亜塩素酸水をご寄贈いただきました。早速、入所施設である「やましろホーム」と「はばたき進和」で、除菌のために使用しています。

ありがとうございました!!

東急百貨店たまプラーザ店販売会

2月15日(土)〜18日(火)

横浜市青葉区にある東急百貨店たまプラーザ店の販売会に参加してきました。たまプラーザ店の地下二階には「チームえんちか」という部署があります。スタッフは10名で、そのうち8名のスタッフは知的障がいがあり、普段は百貨店内の様々な付帯業務を引き受ける部署です。

チームを率いる社員の松田様は「福祉の商品にスポットライトをあてたい！」という思いから昨年、吉祥寺店でマルシェを開催したそう。今回は、定年を迎える松田様ご自身の拠点であるたまプラーザ店での開催を熱望し、実現したと聞きました。

「チームえんちか」の皆さんは、笑顔や挨拶、身だしなみなど、百貨店で働く一員としての基本をしっかり身につけて仕事にのぞんでいました。お客さんに対する掛け声も「いらっしやいませ」の一言ではなく、どのようにしたらお客さんは興味を持ってくれるか考えながら言っているのが伝わり、とても勉強になった販売会でした。



「えんちか」は縁の下
の力持ちが由来です。

OSC 湘南シティ展示即売会

2月1日(土)〜2日(日)



ご来場ありがとうございました!

土日の人で賑わう中、ちょうど遊びに来ていたグループホームの佐々木節子さんが急遽、販売をお手伝いしてくれました。

共同開発 第4弾!

しまむらストア様とのコラボ商品第4弾として、しんわルネッサンスのブルーベリーピューレを使用した「湘南ブルーベリープリン」が発売されました。ルネッサンスの畑で大豊作となったブルーベリーの販売について、しまむら様に相談を持ちかけたのがきっかけで、商品化が実現しました。商品開発の段階からコラボすることで、プロの視点で学園の商品を評価していただき、利用者ご本人のやる気にもつながりました。



リンに
いて、
ゼリー
販売予
です!

14

湘南産の素材を使った
まるごとみかん味のパン

アラフィフ 職場の駅伝部の仲間と参加した「湘南国際マラソン」で、地元の人にももらいました。みかん果汁を練り込んだパンの中に、みかん色のあんが分厚く入ってます。パンもあんも超〜みかん味! うまい!

アラフォー パンというよりスイーツの味わい。お取り寄せもできますよ

間引きされた青摘みかんを使用。平塚市のふるさと納税の返礼品に選出。(5個入りネット) ¥900/サンメッセしんわ ☎0463-35-3800

『サンキュ』3月号に
みかんぱんが掲載され
ました!



「トリツリ」も春満開!!



期間限定【3月20日(金)〜4月5日(日)】のさくらセットが大好評でした🌸
(ともしびショップ湘南平・湘南リトルツリーは、4月24日より高麗山公園駐車場が閉鎖となるため、当面の間お休みします。)

今年の逸品紹介

昨年4月から一年間磨き上げた「今年の逸品」を発表します！

『ママ、今日は何はさむ？』

秘密はありませんが、秘話を・・・。
サービスエリアの売店で「地域の小麦を使った全粒粉のドッグパンを作りたい」と、移動販売車軍団に聞きまわったところ、サンメッセにたどり着いたとのこと。

小麦の豊かな風味とヘルシーさが人気を呼んで、人出の多い時期には大量注文をいただいています！！



グラハムドッグ
5本入り 322円+税



『瞳にBlueのエッセンス』

ルネッサンスで収穫されたブルーベリーで、味はとても良いのに傷があったり色が薄かったりして生食には向かない商品の活用方法を考えて、現在の製造ラインに乗せやすいジュースの開発に着手しました。

商品開発に先立って、全国各地で製造販売されているブルーベリージュースを取り寄せて担当者で何度も協議を重ね、自慢のブルーベリージュースが完成しました！



ブルーベリージュース
500ML 3000円+税

サンメッセとルネッサンスは、「平塚逸品研究会」に所属し、地元の商店の皆さんと商品の研究開発に取り組んでいます。

NHK、TVK、ミヤネ屋でも放映！



「染めふきんマスク」発売！

折るだけ！カンタン！！

新型コロナウイルス感染拡大で、予防のためのマスクが全国的に不足している中、平塚市役所1Fロビーに常設されているワゴンショップ「ありがとう」で、市内の福祉事業所6ヶ所が、手作りマスクの販売を開始しました。3月13日には新聞・テレビの取材があり、大きな反響がありました。サンメッセでは、後援会縫製部の協力を仰ぎながら、急ピッチで製作が進んでいます。



～サンメッセ作業風景～

←定番商品「染めふきん」

ひらつか障がい者福祉ショップありがとうございます
場所／平塚市役所本館1階
東側多目的スペース
時間／開庁日(平日)
午前10時～午後3時30分

3月15日付の神奈川新聞には、『サンメッセしんわ』の商品は、洗って使える『染めふきんマスク』。季節の花などを染料で描き、布巾として売る予定だったさらしを畳んでゴムひもを通した。『新型ウイルスが終息した後はゴムを外して、布巾として使って』と呼び掛ける。同施設で布巾作りに10年間携わる熊沢和美さんは、『心を込めて作った』と満足の出来栄え。」と掲載されました。



1枚 300円です！



染めふきんの模様がオシャレ☆



長さに注意してゴムを輪にします



治具を使って丁寧に折り畳みます

令和2年度 新卒採用職員

障がい部門 8 名、保育園部門 4 名のあわせて 12 名が新卒職員として採用され、それぞれの配属先で勤務を始めました。



はばたき進和
立石将大

はばたき進和
高見絢子

はばたき進和
大木麻由子

やましろホーム
藤原浩士

やましろホーム
河邊千里

やましろホーム
阿部雅玖



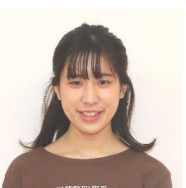
富士見保育園
山口明子



富士見保育園
谷下美希



いずみ保育園
端山楓



いずみ保育園
大村香水



あさひホーム
渡邊理紗



あさひホーム
鮫島ななみ

職員エッセイ

「食事の持つ役割」

あさひホーム 栄養士

横山順一



食事には 2 つの役割が備わっています。1 つは、健康を維持・増進するため、また疾病の予防・治療に必要な栄養素を過不足なく提供するという栄養学的な役割です。

もう 1 つは、おいしく食べることで心の豊かさや満足感をもちたすとともに、人間関係やコミュニケーションの形成に役立つなど、食べる人の生活の質、社会性を高める役割です。

食生活はただ空腹を満たすため、体の機能維持のために何かを口にすればよいというものではありません。心の健康のためにも、食生活が大切であることをぜひ知っておいてください。

給食部では食事のもつ 2 つの役割をふまえ、バランスの良い食事を提供し、健康的な食生活を営むことができますよう、安心できる食事の提供をしています。また免疫力を高めるために、毎日乳酸菌飲料を提供し、感染症予防、ウイルス対策にも努めています。

進和後援会 入会のご案内

「進和後援会」は、利用者ご本人の幸せとご家族の安心のため、一人ひとりが光り輝くために、それぞれの障がいに合わせて事業をおこなっている「社会福祉法人進和学園」の活動を支援しています。

当会の趣旨に賛同して下さる個人および企業・団体の皆様のご入会をお待ちしております。

☆入会方法

0463-32-5325 進和学園法人本部内「進和後援会 事務局」までご連絡下さい。振込用紙を送付させていただきます。

この振込用紙による場合は、振込手数料は無料となります。直接振り込みをいただいた場合は、ご住所、お名前(漢字)を、お電話等によりご連絡いただければ幸いです。

☆会費 個人会員 1 口 1,000 円から
団体会員 1 口 10,000 円から

個人会員は、都府金のうち 2,000 円を超える部分について所得税の還付、住民税の控除が受けられます。団体会員は、損金の限度内算入が認められます。

☆納入方法

①振込の場合

郵便振替 口座番号 00230-6-18155 「進和後援会」あて

②ご持参の場合

平塚市万田 475 番地 進和学園法人本部内「後援会事務局」(進和学園の各施設でも受け付けております)

編集後記

新型コロナウイルスで、イベント中止の連絡が続々と届く中、みんなでネタ探し。早く終息するのを祈るばかりです。(サンシテイ・小針)

最後の最後にコロナウイルスに泣かれましたが、なんとか令和元年度最終号を発行できました。(はばたき進和・木村春)

締め切りに追われることもありましたが、今年度も無事に編集が終わり、ほっとしています。(万田ホーム・山田和)

月報編集委員会を通してどんな方々と交流があるのか等々知りました。とても楽しい 1 年となりました。(やましろホーム・尾高)

「楽しく読んでいただく！」をモットーに 1 年間編集してきました。もうそろそろ編集業は引退したいです。(しんわやえくぼ・一寸木)

至らぬ点もあったかと思いますが、無事に編集が終了しました。(しんわネットサンス・椎野)

進和学園に関わる方々や行事を知りました。学園の成り立ちや関わる方々の気持ちを知り、大変勉強になりました。(あさひホーム・原)

1 年間
ありがとうございました！



平成 31・令和元年度
月報編集委員会